

# 徳成寺

## 寺もかわら版

第216号 2024年12月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

先月は、選挙で大忙しでした。もちろん一つはアメリカ大統領選。

そしてもう一つは、兵庫県知事選挙です。マスメディアを第三とか

第四の権力と言ったりしますが、そのマスメディアの中でも、SNSが

選挙結果に重大な影響を及ぼすようになったとか。誰もがスマホを片手に

ヒマさえあれば眺めているようになりました。それだけの人々に影響を与える

ツールになっています。一方で、デマやフェイクニュースを見せられている可能

性も日に日に大きくなっています。益々、何が事実なのか何が真実なのかサッパリ

訳が分からなくなります。こうした見通しかきかなくなる事を仏教では、「濁り」と

言いました。濁世とも言います。詳しく言うと五濁悪時悪世界です。問題は、その「濁り」に

私たちが気付かないという点です。濁世とは、仏様の智慧の鏡が映し出した人間世界の事です。

仏様の智慧を鏡として持たない限り、妄念妄想の幻を追い続けるしかありません。

発行責任者

住職

大山健児

坊守

大山ひとみ

### 大山超世の耳を澄ませば



お世話になっております、副住職です。今月、娘が初めての誕生日を迎えます。生まれた時と比べると、体重は約3倍。身長は約2倍になり、固形物を食べ、歩けるようになりました。歩くと言えば、お釈迦様は脇の下から生まれ、7歩あるいて「天上天下唯我独尊」と仰ったと言う逸話があります。直訳すれば、「この世界において、私唯一人が尊い存在である」という言葉で、一見すると随分と不遜な物言いに感じます。しかし、この言葉の真意は、そんな尊い私と同じように全ての命は代わりがない大切な存在であるという点にあります。私の娘は7歩以上満足に歩くことができるようになるまで、11か月かかりました。まだ言葉は話せません。そんな彼女もお釈迦様と同じように尊重される命であるという励ましが私に伝わってくることにありがたさを感じました。写真は積み木を持ってはしゃぐ娘です。記事をご覧の皆様も元気に年末をお過ごしください。

